

第3回東浦町公共施設再配置計画検討委員会意見対応表

No.	意見内容	対応
1	別添資料 P. 3 に役場と消防署東浦支署の合併について、消防署東浦支署には訓練スペースが併設されると思うが、常時使用されない場所が敷地面積を圧迫することとなり、役場の駐車場の問題へ発展すると感じるため、懸念事項に追加していただきたい。	別添資料 P. 4 (別添 1) に、懸念箇所として追記しました。
2	町営住宅について、計画期間内に廃止を検討とあるが、都市計画課としては計画にあげていない点は留意いただきたい。また、借り上げ住宅の対応は考えておらず、補助金の想定である。	施設の方向性の言い回しを修正しました。
3	概要版 P. 7 について、施設の複合にかかる人口設定について、どの時点でどれくらいを想定しており、人口の下げ止まりは考慮されているのか。 R19 で設定することは良いと思うが、最終人口がどうなるかということを設定しないとロードマップが使えるものでないのではないか。	第 7 章に記載の森岡地区モデル事業のとおり、施設計画に際して、人口減少を反映した規模設定を行うものです。
4	別添資料 P. 28 について、中学校は単独建替であり、何かの施設と複合化することは考えていないのか。	概要版 P6 にて地区施設は小学校を拠点として複合し、地区によっては中学校を複合することとしています。東浦中学校は東浦文化広場との複合を検討しています。
5	再編の理由として人口減少が表に立っているため、人口に関する前提条件を明確にした方が、誤解のない内容になると考える。	数値目標に人口減少に関する注釈を追記しました。
6	基本方針の 2 「水害等の災害への対応能力の向上」について、新しい建物に対する対策はあげられているが、現在の建物や建物までのアクセスについての考えはどうか。例えば、他市町の事例では、建物自体は耐えられるという計画であったが、アクセス性について問われた結果、全く別の計画に変わったということもある。建物が水害に対応していると記載があっても、町民は納得しないと考える。また、東浦中学校敷地が危険と記載されているが、跡地に建物をつくるというのは、直感的に矛盾していると感じるのではないか。	敷地外も含めた災害対応について、第 5 章の基本方針 2 に追記するとともに、第 8 章にも記載しました。
7	公共施設の再編は、施設の再編にとどまらず、居住地域の再編に繋がると考えている。立地適正化計画に関する記述がない点が気になる。立地適正化計画について、関連計画として位置付けを整理するだけでなく、計画とのすり合わせが必要と感じる。数合わせだけでは良くない。プラン自体は大きく変わらないと思うが、宿題として検討していただきたい。	方針への記載や配置における都市機能誘導区域設定など、立地適正化計画と整合した計画としています。
8	役場と東浦支署の複合について、複合メリットが追記されており、移転することで物理的にハザード内の立地は解消されると思うが、共用部分での削減などスケールメリットは多く見込めないと感じる。	—
9	再編のメリット・デメリットの議論ではなく、まずはこれだけ減らさなければいけないという削減目標を計画の前提条件として定めるべきと考える。	—

No.	意見内容	対応
10	削減目標は、計画の前段、例えば基本方針などに出てくるべきと考える。	削減目標は第5章に構成変更しました。
11	東浦中学校の移転に関して、メリットについては承知しているが、今の場所で建替という意見が根強く残っている。現敷地の全町拠点に東浦中学校が入らないかという意見が想定され、合意形成には時間を要すると考える。別添資料 P.20 の構想図について、既存の体育館を残すのであれば校舎の設計に苦慮するのではという意見や、借地場所の対応など、もう少し具体的な計画がないと不安を払拭できないのではないかと考えている。また、体育館との複合について、学校の使用が優先されることは理解しているが、社会体育施設としてのサービス低下が懸念される。計画がゆるがないような雰囲気を感じており、計画段階なので色々な可能性を検討してもらいたい。現位置での建替え可能性と、移転するのであればもう少し自由な場所を、という2つの意見がある。	既存体育館を残すことによる設計苦慮の件は委員長意見のとおり、影響は小さいと考えます。東浦中学校のあり方は、今後の基本構想・基本計画等の段階で所管課としての方向性を定め、反映ください。
12	平時と緊急時のイメージを共有した方が良いと思う。東浦中学校敷地で盛土をすれば解決できるのであれば学校でも他施設でも問題ないのではないかと。また、東浦支署は平時であれば今の場所が良いと思うが、災害時の時をどこまで考えるのか、イメージを共有しないと考えづらいと感じた。	平時と緊急時の点について、第8章にて記載しました。
13	利用者側の目線も考えるべき。全町拠点③になかよし学園が入っている。なかよし学園は利用人数が増えており、多機能施設に複合となっている。なかよし学園の利用者は、保護者の方を含め繊細な方が多く、多くの人が集まる場所に集約するのが良いのかは疑問である。現時点は森岡保育園に併設されており、のんびりした雰囲気で保育園への移動もしやすいため、そういった利用者の方の目線でも考えていただきたい。	ご意見として伺いますが、所管課ヒアリング等も踏まえ、全町施設であるなかよし学園は子育て支援センターと保健センターとの複合として整理しています。
14	財政課としては、30%削減できれば問題ないとお墨付きを出しているわけではなく、財政的な限界値とさせていただきたい。社会情勢等の今後の不確定要素もある。30%に達することができれば良いのではなく、30%以上削減するという認識を持っていただきたい。	—
15	“例えば”の話が積み重なっており、不確定要素が多いためやむを得ないが、定期的な見直しや点検に重きを置いていただきたい。計画通り進んでいるか、財政の状況はどうか、3割削減の達成度は、という点を定期的に補う必要があると考える。本計画が決定事項となってしまう、今後見直しが効かない状況になるのは避けたい。	計画の見直し等について、第8章にて記載しました。
16	床面積が減ってもコストが減らないのでは意味がない。PFI等の色々な手法を取り入れてコストを減らすことが必要と考える。面積だけにとらわれる必要はない。	PPP/PFI等の手法については第8章に記載しました。また、面積だけでなくコストの観点も必要な旨は計画書本編第5章第2節数値目標に記載しました。
17	概要版 P.7 ロードマップ上では、体育館は2024年以降実施とある。体育館敷地は土砂災害の危険があるが、複合の際は土砂災害対策も合わせて行われるのか。	詳細は事業化の際に検討します。

No.	意見内容	対応
18	<p>東浦中学校を移転した後に、体育館を 20 年後に建替とあるが、東浦中学校移転のタイミングで町体育館を建て替える考えはないのか。</p> <p>町体育館の建替について、中学校移転時に建設はしないにしても、同タイミングで計画しておく必要があると考える。同じタイミングで整備することは、案としては考えられるが、一時的な支出はかなり増えるため、財政的に可能かという問題がある。先行投資として一緒に整備するというアイデアとしてはあると思う。</p>	<p>現段階では、耐用年数にも十分な時間があるため、残して活用していくとしています。移転と同タイミングで体育館を建替えた場合の検討も、今後、必要であると考えます。</p>
19	<p>全町拠点③に相談機能が集約されているが、現在、施設の配置がバラバラであり、色々な所で相談できるようになっている。1箇所を集約した場合、例えば災害時には人を頼ることが多くあると思うが、特に高齢者において移動の問題はないか等が懸念される。</p>	<p>—</p>
20	<p>概要版 P. 10 モデル事業についての位置づけはどのように考えているか。再配置計画の中でのモデル事業なのか、別の計画で改めて計画していくのか。</p>	<p>—</p>
21	<p>概要版 P. 2 の方向性は、基本方針の中に入るべき。その中に削減目標 30%を強く示すべきである。方向性と記載している箇所には方針の具体化といった主旨の内容が記載されるとよいと考える。</p> <p>町民意見・庁内意見は基本方針を作るためのものである。未来会議には新しいものを作るといった意見があるが、こうした意見が基本方針で「施設を減らす」と示した後に出てくると、増やす必要があるのでは、とわかりかねない。現在の記載場所とするのであれば、縮減を目指す前提での意見であれば問題ないと思う。</p> <p>フローにおける公共施設評価は、公共施設の評価というよりは、計画の評価になると考える。当初の目標設定から、災害リスクは結果どうなったか、小学校の通学距離等、ロードマップ案を作成したことで、どう効果が出たのかを振り返る場所である。また、計画を見直す際には、効果検証の枠組みとしてこの部分を作っておくことが有効であると感じた。</p>	<p>数値目標や複合化・集約化、町民意見・庁内意見、公共施設評価等、計画の構成を見直しました。また、計画の評価の枠組みは第 8 章に記載しました。</p>
22	<p>第 6 章はロードマップの検討となっているが、検討でなく、検討を受けての結果であると思う。</p>	<p>構成変更とあわせて見出し名称を修正しました。</p>